

私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合
No.3 2016年6月30日(木)

全国父母懇・私学助成をすすめる会交流会山形 記念講演者

基督教独立学園 前校長 安積力也 先生

対談番組がNHKEテレで放送されます



安積先生

学費の公私間格差・自治体間格差の二つの格差是正にむけた春の私学助成運動の取り組みお疲れさまです。

国の就学支援金制度 2017 年度見直し議論を前に、各都道府県において「学費減免制度」を前進させる「改善案」作成に向け、春は要請ハガキなど、父母・生徒の声（＝要求）を集約しつつ、私学助成制度の認知を拡げる取り組みが展開されている処と思います。その点からも、この春に「私学助成学

習会」を数多く開催していくことは重要です。

新入生父母をはじめ父母のみなさんに、「私学の学費が高いのは仕方ない」事ではなく「貧弱な私学助成制度の所為」であると私学の高学費の原因を認識していただき、学費の二重の格差解消に向けた賛同・共同をつくりだす、春にしていきたいと思います。

その父母との共同の1年の大きなイベントである「全国父母懇・私学助成をすすめる会交流会」。今年は東北ブロック山形県の天童温泉で開催されます。その記念講演の講師をしてくださる基督教独立学園前校長の安積力也先生の対談番組がNHKのEテレで放送されるという情報が開催地山形から届きました。ぜひ各都道府県の私学父母懇、私学助成をすすめる会の皆さんにお知らせし、参加組織につなげてください。

<NHK ホームページより>

放映日…2016年7月3日(日) 午前5:00~6:00 再放送予定…7月9(土)午後1時~2時

番組名…『こころの時代~宗教・人生~「何をおそれるか一本来の私を生きる一」』

内容…「安積力也さんは、40年以上にわたり教師として思春期の若者たちと向き合ってきた。器用に周囲の流れにのるものの、本来の自分を発揮できない若者の苦しみに何が出来るか。」

詳細…「安積力也さんは一昨年、山形にある基督教独立学園高校の校長を辞し、東京での生活を始めた。しばらくぶりの都会で実感するのは、他人との関わりを避けようとする人々の意識。若者たちは周囲の流れにのる一方で、他人と距離を置き本来の自分を心の底に隠して生きていた。山形の高校では、若者たちが大自然の中で、本来の自分と大いなる世界とを発見する姿を目の当たりにしていた。いま教育が、若者たちに与えられる希望の原理とは。」

(第3種郵便物認可)

経済的理由で中退 過去最低割合

私立高校生、就学支援金制度が充実

2015年度に私立高校を経済的な理由で中退した生徒の割合は0.02%で、1998年度の調査開始以来最も低かったことが、全国私立学校教職員組合連合の調査でわかった。

最低だった。

同連合は、「国の就学支援金制度や自治体の補助制度などが手厚くなり、低所得層の負担が減ったことが要因」と見ている。

調査は、全国の全日制私立高校の約24%にあたる303校(生徒数計26万542人)から回答を得た。

経済的な理由で中退した生徒は47人で全生徒の0.02%。過去の調査で最も高かった2007年度の0.21%(407人)から大幅に減った。学費を3か月以上滞納している生徒の割合も0.3%(786人)で過去

2015年度(2016年度3月)末

「経済的理由による中退・学費滞納」

調査結果 読売新聞で報道